

事務事業ID 1646		平成 28 年度		事務事業マネジメントシート		平成 28 年 5 月		日作成			
事務事業名 大船渡北小学校前線改良事業				☒ 実施計画登載事業 ☒ 合併建設計画登載事業							
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		予算科目					
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	65	
根拠法令											
所属	部課名	都市整備部建設課									
	課長名	菅原博幸									
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111							
	担当者	高橋史子	内線	316							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
大船渡北小学校に隣接する山側の宅地開発(民間)が進み、宅地内道路へのアクセスに学校敷地内通路を一般車両が利用しているため、児童の通学および屋外活動が危険な状態にあることがかねてより問題となっていた。大船渡測候所線を経由してのアクセスも可能であるが、勾配=17%最狭幅員W=2.3であり、学校敷地内通路のほうが利用しやすいためこのような現状を招いている。このことから、学校敷地内通路の一般車両通行制限を前提として、宅地内道路へ接続する既設市道を改良するものである。 本路線の整備は延長L=160m幅員W=5mとする。 【計画期間】 ・測量調査設計(一式) 平成27年度/用地補償 平成28～29年度/工事施工(L=160m) 平成29年度 本事業の完了は平成29年度の予定である。 事業費は委託費、土地購入費、補償費、工事費、事務費として支出される。						総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	70,800		
								都道府県支出金			
								地方債	45,400		
								その他			
								一般財源	3,800		
								事業費計(A)	120,000		
人件費	正規職員従事人数	3									
	延べ業務時間	960									
	人件費計(B)	3,840									
	トータルコスト(A)+(B)	123,840									

1 現状把握の部(DO)										
(1) 事務事業の目的と指標										
① 手段(主な活動)					⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
前年度実績(前年度に行った主な活動)					名称単位					
測量調査設計(一式)					ア	用地買収面積	㎡			
					イ	施工延長	m			
					ウ					
今年度計画(今年度に計画している主な活動)					⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)					
用地補償(1地権者…333㎡ 家屋1件)					名称単位					
					カ	計画総延長	m			
					キ	主たる利用者数	人			
					ク					
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等					⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
大船渡測候所線、山側宅地住民、児童					名称単位					
					サ	十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m			
					シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%			
					ス					
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)										
市道が拡幅改良される。山側宅地住民に利用してもらう。児童の安全が確保される。										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)										
安全で快適に移動および活動できる。										
(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
単位										
投入量	事業費	財源内訳	千円					4,471	18,000	
		国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円					2,700	11,400	
		その他	千円							
		一般財源	千円					381	700	
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	7,552	30,100	
	人件費	正規職員従事人数	人					2	3	
		延べ業務時間	時間					360	120	
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	1,440	480	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	8,992	30,580		
⑤活動指標			ア	㎡				0	333	
			イ	m					0	0
			ウ							
⑥対象指標			カ	m				160	160	
			キ	人					33	33
			ク							
⑦成果指標			サ	m				0	0	
			シ	%					0	0
			ス							

事務事業ID	1646	事務事業名	大船渡北小学校前線改良事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
大船渡北小学校に隣接する山側の宅地開発(民間)が進み、宅地内道路へのアクセスに学校敷地内通路を一般車両が利用していることから、児童の通学および屋外活動が危険な状態にあることがかねてより問題となっていた。このことから、学校敷地内通路の一般車両通行制限を前提として、宅地内道路へ接続する既設市道を改良するものである。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
アクセスには既設市道(大船渡測候所線)を経由することもできるが、勾配i=17% 最狭幅員W=2.3であり、学校敷地内通路のほうが利用しやすいため、このような現状を招いていた。既設市道は家屋が近接し拡幅改良は困難であると思われたが、地域要望および関係地権者の協力を得られる見込みがある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
現状改善および児童の安全を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	改良整備により安全快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】	公共施設の道路改良は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】	この市道は未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】	十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の向上余地が認められない(年度ごとの実績はあるが、全区間の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない)。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	安全で快適に利用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】	個別事業であり、他に手段は無い。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地は無い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	必要最小限で対応していることから、削減の余地は無い。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	一般に供する道路であることから受益者負担になじまない。

事務事業ID	1646	事務事業名	大船渡北小学校前線改良事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成29年度事業完了に向け、事業を推進する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	建設課長 菅原博幸

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容)		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
